

お天気解説

アキラのズバッと

東京地方の気候変動シリーズ

“Now & Then”

お正月の天気、今と昔

令和6年1月5日

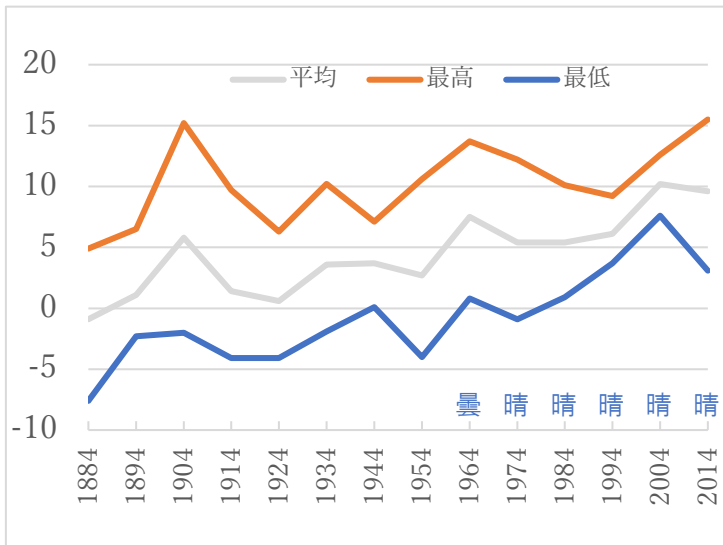
江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

新しい年がスタートしました。本年もよろしくお願いたします。暖かなお正月でしたね。今年は辰年、活力旺盛に成長する年とされています。

さて、今月からは、「東京地方の気候変動シリーズ“Now & Then”」と題しまして、東京の天候の今と昔を比べてみたいと思います。

今回は「東京の昔のお正月(1月1日)の天気と気温」を気象庁のデータで10年ごと(1884,1894,1904,...2014年)にして調べてみました。天気や雲量の記録は1964年からありますが、それ以前

は降水量のみの記録です。初日の出の時刻に近い朝6時の天気は晴れが多く、降水はなかったか、あっても0mmでした。過去50年間(1974~2023年)の東京のお正月の天気を調べても晴れた日は40日です。気温については、昔のお正月の最高気温は近年とあまり変わりませんが最低気温は氷点下で、1884年のお正月は-7.6℃です。きっと初日の出は都心でも厚い氷の張る中で迎えたことと思います。近年では氷点下になった日はないですね。一方、東京郊外では近年でも氷点下のままで、府中市では2022年のお正月は-6.3℃でした。このように昔よりも都心部を中心に気温が上昇しています。原因は車や暖房等による排熱が主で、



図：東京都心の1月1日の天気と平均気温・最高気温・最低気温，天気（気象庁データより作成）

こうした温暖化は「ヒートアイランド現象」と呼ばれています。これは郊外よりも都心部で大きく現れています。

1959年1月1日は、南岸低気圧の影響で東京地方では大雪が降ったようです。翌日の箱根駅伝の写真には、雪道を力走する選手たちの姿が真新しい東京タワーと共に残されています。

今回は、「東京、昔の平年値は」というタイトルで、今と昔の気温を比べてみます。

2024年01月05日11時 気象庁 発表			
日付	明日 06日(土)	明後日 07日(日)	08日(月)
東京地方	晴	晴後時々曇	晴時々曇
降水確率(%)	0/0/0/0	30	10
信頼度	-	-	A
東京 気温 (℃)	最高	13 (12~15)	10 (8~12)
	最低	4 (3~5)	2 (1~4)

東京地方の週間天気予報より
気象庁HPから抜粋
(日曜日は寒くなりそうですね。)